

1-3-1-01						
分類	1-3-1 給食センター	担当課	学校給食センター			
事業名	<b>給食センター運営経費(賄材料費)</b>					
事業内容・目的	学校給食は、栄養バランスに優れた献立を通し、成長期にある児童生徒に必要な給食を提供するとともに、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることを目的とする。					
評価指標	1. 児童・生徒等人数等及び賄材料費					
備考						
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
実施計画	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月
目標値1	1,888名	1,887名	1,867名	1,928名	1,886名	1,822名
目標値2						
決算額	<b>98,154,760</b>	<b>99,359,925</b>	<b>100,148,246</b>	<b>100,447,900</b>	<b>99,995,053</b>	

平成30年度実績

年間給食供給計画日数は、完全給食206日・お弁当の日5日の計211日としています。

ただし、小学校195日以内・中学校1、2年生195日以内、3年生185日以内、認定こども園（1号認定）が185日以内、認定こども園（2号認定）が219日以内とし基本的には、各学校統一としています。

賄材料の内訳として、主食26,397,966円、副食58,806,978円、飲料用牛乳14,790,109円となっています。主食の割合としましては、米飯66%、パン22.6%、麺11.4%となっており、米、パンの原材料の小麦粉につきましては、100%道内産を使用しています。

食材の野菜につきましては、50.4%道内産を使用しています。

町内産食材の購入につきましては、乳製品15,667,183円、ホタテ等の水産物555,984円、野菜の一部購入（別海高等学校）が9,050円で合計16,232,217円。賄材料費全体の約16.2%が町内産となっています。町内産の利用につきましては、出来るだけ多く取り入れるように乳製品・魚介類を使ったメニューを考えて努力をしています。

平成30年度も、新しいメニューや行事食等の提供を引き続き行っており、様々な食に触れることができるように工夫しています。また、日本型食生活の実践、我が国の伝統的な食文化の継承ができるように配慮しています。

児童生徒が学校給食を通して、日常または将来の食事作りにつなげることができるよう、献立名や食品名が明確な献立作成にも努めています。

また、学校における食育の推進を図る観点から、学校給食を活用した食に関する指導を効果的に行えるように、学校給食の食事内容の充実に努めています。

1-4-1-01						
分類	1-4-1 給食センター	担当課	学校給食センター			
事業名	<b>給食助成事業経費</b>					
事業内容・目的	準要保護及び特別支援教育就学児童生徒への給食費助成					
評価指標	1. 就学援助人数					
備考						
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
実施計画	○	○	○	○	○	○
目標値1	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月	12ヵ月
目標値2	述人数113名	述人数136名	述人数146名	述人数155名	述人数137名	述人数137名
決算額	<b>5,494,366</b>	<b>6,411,557</b>	<b>6,641,547</b>	<b>7,477,871</b>	<b>6,945,665</b>	

平成30年度実績

教育委員会が認定した児童生徒の保護者に対し、給食費全額を適切に助成をしました。

小学校 195日以内 (1食単価 249円)

中学校1、2年生 195日以内 (1食単価 289円)

中学校 3年生 185日以内 (1食単価 289円)

年間給食費

小学校 48,555円

中学校1、2年 56,355円

中学校3年生 53,465円

準要保護児童生徒人数 小学校53名、中学校35名 計 88名

特別支援学級児童生徒人数 小学校44名、中学校15名 計 59名

予算額7,040,000円 執行額6,945,665円 残額94,335円 (執行率98.7%)